

# スイートピー新品種「ブライダル・ピンク」の育成

## 1. はじめに

和歌山県のスイートピーは、1985年頃から栽培が始まり、全国第2位の産地となりましたが、現在の生産面積は減少傾向にあります。そこで、和歌山のスイートピー産地を活性化するために、1994年からオリジナル品種の育成に取り組んできました。今回、新品種「ブライダル・ピンク」を育成しましたので、育成経過と特性について紹介します。

## 2. 育成経過

1995年4月に「ダイアナ」（冬咲き選抜・花卉全体が鮮やかなピンク色）と「アーリー・ホワイト」（冬咲き・花卉全体が白色）の組合せで交雑を行い、雑種第二代目の中から冬咲きで覆輪（花卉の周縁部がピンク）の個体を選抜しました。その後、自殖を4年間繰り返し、形質を固定しました。2001年2月、「ブライダル・ピンク」と命名しました。

## 3. 新品種の特性

1) 今回育成した新品種「ブライダル・ピンク」

の花色は、白色の花弁の周縁部がピンク色になる覆輪で、両親と比べてやわらかいパステル調であることが特徴です。

2) 収穫開始日、初収穫節位、収穫本数、切り花長、着花輪数などの開花・生育特性は、代表的な品種である「ダイアナ」（冬咲き選抜）や「アーリー・ホワイト」とほぼ同じです(表1)。

## 3. 栽培利用上の留意点

樹勢が「ダイアナ」と同様に強めであるため、種子冷蔵期間は必ず15日間行うことが大切です。

## 4. おわりに

新品種「ブライダル・ピンク」は、花卉周縁がピンク色の覆輪品種で、パステル調の花色から優しいイメージがあります。そこで、新しい冬咲き品種として従来の利用法に加え、結婚式のブーケやテーブルフラワー等への利用が期待されます。また、本品種は和歌山県のオリジナル品種として2002年度に品種登録の出願を予定しています。

(育種部 花田裕美)

表1 「ブライダル・ピンク」の生育・花色特性

品種名	収 穫 開始日 (月日)	初収穫 節 位 (節)	収 穫 本数 (本)	切 り 花長 (cm)	着花 輪数 (輪/本)	花 色 (花 弁)			
						旗 弁		翼 弁	
						周縁部	中央部	周縁部	中央部
ブライダル・ピンク	12/17	15.3	19.1	45.1	4.9	鮮紫ピンク	黄白	鮮紫ピンク	黄白
ダイアナ	12/12	15.4	18.9	49.7	5.1	鮮紫ピンク	紫ピンク	鮮紫ピンク	紫ピンク
アーリー・ホワイト	12/15	19.1	19.8	46.5	5.6	黄白	黄白	黄白	黄白

耕種概要：は種日：2000年9月11日、種子冷蔵期間：15日間、日長：自然、最低夜温 5℃、1株仕立て、株間15cm、条間60cmの2条植え、施肥：和歌山県栽培指針に従う